2020 年度事業報告書

（2020 年 9 月 1 日から 2021 年 8 月 31 日まで）

核医学診療推進国民会議

1　事業実施の概要

2020 年度は、アルツハイマー病 PET 診断の保険収載に向けた活動を学会・企業と連携して行っていくため、活動方針にアルツハイマー病 PET 診断を追加した。また、政策提言に関する活動、広報・啓発活動を中心に活動した。内容としては、要望書の提出、関連団体の後援、会報誌の作成を実施した。さらに、今後の企画委員会の活動を検討するために会員に対してアンケートを取った。

【主な対象分野】

PRRT（神経内分泌腫瘍の治療）

放射性ヨウ素内用療法（甲状腺がん治療）

塩化ラジウム（前立腺がん治療）

PSMA（前立腺がん治療）

アルツハイマー病 PET 診断

2　事業の実施に関する事項

(1)患者のアンメットニーズの調査・把握に関する活動

日本核医学会のワーキンググループや委員会で行っている患者のアンメットニーズに関する調査活動に協力した。

(2)政策提言に関する活動

①要望書の提出

大阪大学、北海道大学、東北大学が連携して文部科学省に申請を行う、ネットワーク型共同利用・共同研究拠点「セラノスティックス放射線科学研究拠点」に関しての要望書を、2021 年 2 月 8 日に大阪大学放射線科学基盤機構　機構長に提出した。

②ロビー活動

医療用アイソトープ製剤の国内製造に関する要望書を、がんサポートコミュニティー、パンキャンジャパンと連名で、2021 年 8 月 30 日に、萩生田　光一文部科学大臣、田村　憲久厚生労働大臣、梶山　弘志経済産業大臣、井上 信治内閣府特命担当大臣（科学技術政策）、更田 豊志原子力規制委員長に提出した。

(3)啓発・広報活動

企画委員会にて下記プロジェクトを進めた。

①核医学に関する一般向け冊子の配布

2019 年度に作成した一般向け冊子を会員に向けて配布した。

②会報誌の発行

会員への情報提供のための会報誌（2021 春号、2021 夏号）を発行し、全会員へ郵送配布した。

③用語集（ホームページ）

用語集の拡充に向け、新用語追加の検討を開始した。

2021 年 3 月 22 日から 4 月 16 日にかけて、当会会員を対象に「放射線関連の用語集」「会報誌」「核医学治療に関する一般向け冊子」のコンテンツの改善に向けた調査および核医学治療の情報発信として求めるコンテンツのニーズ調査を実施した。

(4)核医学診療推進コミュニティの形成活動

①会員登録の促進、意見の収集

2020 年 11 月 12 日から 14 日に開催された第 60 回日本核医学会学術総会にて、当国民会議の活動実績等を紹介したパネルを展示し会員を募集した。患者側からの参画を促すために、「皆さんの「声」投稿ページ」をホームページ内に作成し、意見の募集を開始した。また、会員が当会活動へ参画できる機会として、アンケート調査を実施し意見を募集した。

会員種別	2021.8.31 時点
正会員	79 名
一般会員	235 名
賛助会員	9 社

②企画委員会の組織

企画委員会の組織を再編成し、会報誌を作成した。

③他団体との連携

前立腺がん、精巣腫瘍、男性乳がんなど、男性がん患者の活動を行っている腺友倶楽部が主催する「 Mo FESTA CANCER FORUM 2020 」を後援した。

(5)その他

①ホームページ・会員の運営管理

ホームページの運営（最新情報のアップ、保守作業、SNS アカウントとの連携）を行った。会員管理（会員情報の管理、会費の徴収等）については、株式会社　国際文献社に委託し管理を行っている。

②会員総会・理事会の開催

2020 年 11 月 5 日～16 日　メール審議（年次報告・計画）

2021 年 5 月 24 日～ 6 月 4 日に web 開催方式で会員総会を開催した。

理事会は以下の日程にて開催した。　以上